

## 趣味はボランティア活動

高橋 昌子 (発達教育学部 准教授)

「趣味はボランティア活動です」、大学生の私が入選した論文コンテストの書き出しです。幼い子供達と遊ぶことが私にもできるボランティアだと知った小学6年生の時、友達を誘って児童養護施設へ出かけたのが私のボランティアデビューです。

大学では、見学に行ったのが新入生歓迎会当日の児童福祉研究会で、先輩たちの活動に惹かれその場で入部。障害のある子供達の日曜託児所を開くグループに所属しました。成人式では、「二十歳の献血お願いします！」と、続々とやってくる顔なじみの友達に声をかけ、会場の外で献血ボランティアとしての参加でした。結婚後も、子育てと共に、点訳ボランティアや障害をおもちの方とのコンサート企画運営等、いろいろ楽しみました。

海外でのボランティアも忘れられない思い出です。夫の留学で1年を過ごしたオックスフォードでは、生け花と日本語を教えるボランティアを経験し、オックスフォード発祥の民間支援団体 Oxfam も知りました。本格的に社会福祉を学ぼうと30代で再び大学生になり、半年間、テキサスで暮らす機会を得ました。教会を中心とする様々なボランティアに触れ、高齢者のボランティア活動を修士論文に活用し、病気の子供やその家族を支援する Ronald McDonald House を知ったのもアメリカです。

阪神・淡路大震災では、当時住んでいた千葉市から地震翌日の未明、神戸に入りました。被災者である地域の方が道路整備をして下さったり、力なく歩いている方にご自分の食料を手渡したりと、ボランティアの真髓をみせつけられました。義援金の協力と、目の当たりにした関西の状況を関東の人々に伝えることが私にできたことです。

本学にも、積極的にボランティア活動に取り組む学生達がたくさんいます。ボランティアとして輝いている学生をみて、素敵な仲間が増える喜びを感じます。

皆さんも趣味にボランティアを加えてみてはいかがでしょうか。



新年の写真間に合わず、通学1年ゼミ生とハロウィンクッキングパーティーのとき